

申2号 第10回定期総会発言等に基づく申し入れ ①

団体交渉実施！

1. 2023年4月に会社設立10周年になることから、10周年記念報奨金として社員一人当たり10万円を支給すること。

- ①10年間の組合員の苦労や努力に会社は報いるべきだ。
- ②フリマサイトで売られるほど、昨今のあらゆる物価上昇により社員の生活が逼迫している現実がある。

タブレット端末が入るポーチと充電器を全社員に配布を行っている。改めて支給する考えはない。

10年間の奮闘は認識一致！

3. サポートコールセンターの被制御駅増加や、訪日外国人の増加による旅客対応・旅客案内などのサービス低下を招かないために、各駅の特情に合わせた適正な要員を配置すること。

- ①サポートコールセンターの対応件数は、特に4月期において、定期券多売期が重なり、未対応も含め1日700件を超える。
- ②コロナ規制が緩和され、JRパスなどの引換えを求め、閉店時間までと列ができるほど、訪日外国人が増加している。

必要な要員は確保している。

会社はもっと職場の現状を把握するべきだ！

2. 各ブロックにおける要員数に偏りがあり休日出勤などによる対応が余儀なくされていることから、各ブロック内の要員を確保し適正に配置すること。

- ①若手社員やエルダー社員の退職、離職に伴い、多くの主勤務地外勤務や休日出勤、勤務変更が行われている。

必要な要員は確保している。

4. 主勤務地外勤務に就く時には、本人の習熟度や駅の特情に合わせた見習い教育を実施すること。

- ①ある職場では、3徹で1本と言われたが、間隔が空いて、不安のまま1本になっている現実がある。

→もし不安であれば、管理者に言ってほしい。必要な要員は確保している。



5. 女性社員の活躍する場の拡大に向けて、女性設備を各駅に整備すること。また、主勤務地外勤務の偏りを是正すること。

- ①線区によっても偏りがある。例えば、宇都宮線は東大宮駅・小山駅にしか女性が泊まれる設備がない。川越線に関して言えば、ゼロ。昨年も申し入れたが、整備が進んでいないので、女性が活躍する場がつかれない。

必要な設備の整備については、関係支社に要請している。引き続き、JRに要請することを確認！

みんなで声を上げて、働きやすい職場環境を実現しよう！

ステーションサービス協議会に対する質問
や意見や春闘に関する意見はこちらまで



[JR 東労組お問い合わせフォームはこちら！](#)